

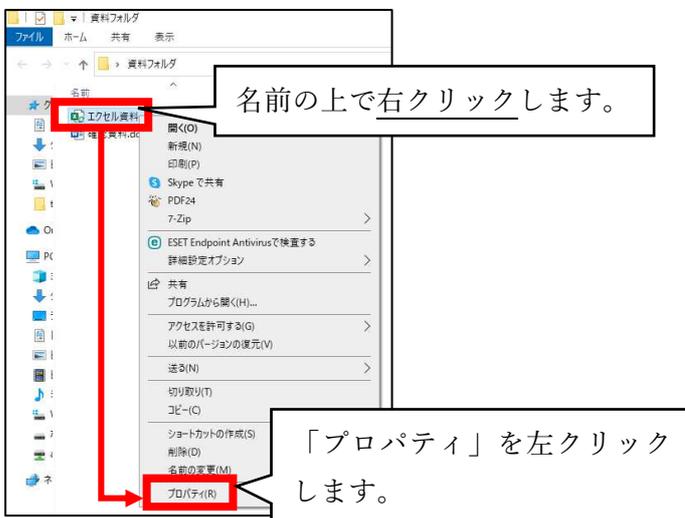
エクセルのマクロが動かない時の対処方法

エクセルを開いた際に赤帯で「セキュリティリスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。」と表示された場合の対処方法を下記に示します。



①エクセルの名前の上で右クリックを行いファイルのメニューを表示します。

その後、ファイルのメニュー上にある「プロパティ」をクリックします。



※名前の上で右クリックを行わないと別のメニューが表示されるので注意してください。



②「全般」タブのセキュリティ項目にある「許可する」にチェックを付けます。

その次に「OK」を押して画面を閉じます。



「許可する」を左クリックし、「許可する」にします。

「OK」を左クリックします。

③以上で対処完了です。

<補足>

- ・対象となるオペレーティングシステム(OS)

Windows が対象となります。Mac・Android・IOS デバイスは影響ありません。

- ・対象となるバージョン

Office のバージョン 2203 (2022 年 3 月 30 日公開) 以降が対象になります。インターネットに接続した際に自動的にアップデートされるため、手動でアップデートした覚えがなくともバージョンが上がっている場合があります。

Microsoft のセキュリティ強化を目的としたアップデートにより、インターネットやメールから取得した Excel はマクロを簡単に実行できなくなりました。

リリースノート URL

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/officeupdates/current-channel>